

みんなで（協同）、まえへ（自立）、つながる（連携）コロナプラスの三松小に！

三松小学校
学校通信

みまつっ子

R4年度 第8号（2/1）
文責（校長：衛藤 慎二）



文責：衛藤慎二

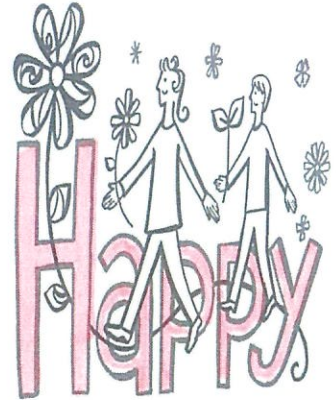
歩くと幸せになる？

前号で、歩くと、『頭がよくなる（運動脳）』『長生きする』ことを紹介しましたが、歩くと、『幸福感が増す』という研究結果もあります。

歩くと体温が上がり、『幸せホルモン』が分泌されるからだそうです。

さらに、『努力して目標達成』した時にも、『幸せホルモン』が分泌されるそうです。

そこで、2月の全校朝会は、『わくわく努力して、夢を叶えよう！』という話をしました。



子供たちが、①『登下校はできるだけ歩く』②『学ぶ意味を考え、わくわく努力する』ことを意識して、もっともっと『笑顔いっぱい、幸せいっぱいの三松小』になることを期待しています。

2月の全校朝会（2/1） 「わくわく努力して、夢を叶えよう！」

にげ・る・な〜

イヤイヤ

わくわく

『何のために』を考えると自分の『学びたい』気持ちが高まる。

勉強って、嫌い！

勉強って、ダメ？

『何のために』を考えないと『やらされる』気持ちが強まる。

全校朝会では、国語・算数・社会・理科を学ぶ意味を伝え、学びを夢につなげようという話をしました。

イヤイヤ
勉強する時間
ではなく、
わくわく
夢をかなえる
チャンスの時間
にしよう！

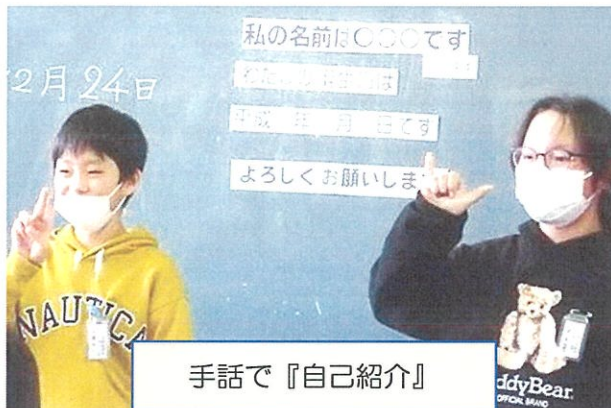


みんなが『幸せ』になるための福祉の学習

三松小学校では、『手話の学習（3年・5年）』『車イス・アイマスク等の体験（3年）』を通して、『人と人がやさしく関わり合い、幸せになるための福祉』について学んでいます。その様子を紹介します。

【5年：手話の学習（1/13）】

5年生は、小林手話サークル木の実会の皆様の御指導のもと、手話の学習を行いました。3年生の時から学んでいるので、児童の理解も早く、自己紹介等も上手にできました。



手話で『自己紹介』



手話で『飛行機』を表現

【3年：車イス・アイマスク等の体験（1/23）】

3年生は、小林市社会福祉協議会の皆様の御指導のもと、高齢者の立場を理解するための疑似体験活動を行いました。体験後は、「すごく動きにくかった。」「歩くだけでもいっぱいだった。」「これからは進んでお手伝いをしたい。」などの感想をもちました。



『人にやさしい町づくりにはどうすればよいか』を考える、とてもよいきっかけになりました。